

新住宅団地の造成について

提案内容	<p>最近若い人から将来どこに住まわれますかと聞くと市役所及び木次、三刀屋町周辺に住みたいと思う人が多い様に見受けられます。原因は周辺には仕事場があり、共稼ぎ等有利、又育児施設が備わっている等です。現在新団地として造成された「そら山団地」は満杯状態です。最近平坦地でもゲリラ豪雨に依り思わぬ災害が起こるケースが見受けられます。松江市、出雲市は市及び造成業者が宅地造成し宣伝し、雲南の若いカップルもそこに住まわれるケースが多い様に見受けられます。若い人の移住を止める為にもそら山周辺にも新団地造成が急務と考えます。それには市長の言われる安心・安全な安価な土地と場所の提供が必要です。検討推進をよろしくお願い致します。</p>
回 答	<p>この度は貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。</p> <p>若者・子育て世代の定住促進に向けて住環境の整備は大変重要な課題であり、土地開発公社と連携した住宅団地の整備や民間事業者による宅地販売を支援する補助制度の創設など積極的に取り組んでいるところです。</p> <p>現在、土地開発公社では、大東地区、木次地区、三刀屋地区において住宅団地の整備を進めており、本年中の分譲を予定しております。引き続き、こうした分譲地の販売状況を見極めながら計画的に進めて参ります。</p> <p>一方で、大規模な宅地開発には大きな事業費と期間が必要となることから、遊休市有地等を活用したミニ団地の整備を積極的に進めていくこととしております。</p> <p>また、市内在住者が新しい住宅分譲地を購入されるケースも多く、結果として周辺部や市街地に空き家が増加するなどの課題が生じています。</p> <p>このことから、市街地の空き家・空き土地等を活用した小規模な宅地整備を進めていくほか、周辺部においても需要が見込まれる場所へのミニ団地整備を進めていく考えです。</p> <p>今後、こうした状況を踏まえながら、全体計画を策定し進めて参りますので、ご提案の場所につきましてもその可能性を検討して参ります。</p> <p style="text-align: right;">(回答部署：政策企画部政策推進課)</p>